



ごあいさつ

こんにちは。マルシャンです。いつもご利用頂きありがとうございます。

『おにいちゃんのハナビ』という映画、もう見ました？ いや、私も見てはいないのですが、片貝花火を舞台にした映画なんですよ。『マリと子犬の物語』も長岡が舞台になりましたが、身近なところが舞台になると、何だかうれしく、多くの方にも見てもらいたい、と思うものです。（それなら自分がまず見る！ですけどね。）しかも！！、『おにいちゃんのハナビ』、かなり感動するみたいです。涙ポロポロくるみたいです。（あくまで個人の感想です。）映画を見て泣きたい方、ぜひどうぞ。

そして、先日、長岡花火を取り上げた映画の製作が決まりました。しかも監督はあの大林宣彦監督です。（私の年代では、『時をかける少女』や『転校生』が有名です。）タイトルは『この空の花』。長岡空襲からの復興という長岡花火の精神を伝える映画だそうです。ぜひこれも多くの人に見てもらいたい！

ただこの映画、制作費が2億円かかるらしく、全額なのか一部なのかは分かりませんが、制作費を企業、市民から出資、寄付してもらおうそうです。

えっ、うちらですか？ 制作会社とかが出すんじゃないの？ 映画も作ってもらいたいし、映画も多くの人にてもらいたいけど、フェニックス花火のお金を集めるのもヒーヒーだったのに、2億円もお金、集まるのかな？ 長岡の企業、市民が出したお金で作った映画の興行収入は、長岡に戻ってくるのかな？ まだ、分からない事が多いです。長岡花火が映画になることがうれしいような不安なような、複雑な気分です。

店主

変わりやすいのは・・・女心？男心？

『女心と秋の空』と言いますね。女心は秋の空のように変わりやすい、ということの例えですが、実はもともとは『男心と秋の空』と言っていて、秋の空のように変わりやすい男の心を例えた言い方だったんです。あの広辞苑にさえ『男心〜』は載っていても、『女心〜』は1998年までは載っていなかったんだそうです。

じゃなんで男心が女心へ変わったんだ???

イギリスのことわざに、『A woman's mind and winter wind change often(女心と冬の風はたびたび変わる)』というのがあるそうで、冬の風は強まったり弱まったり、女心のように変わりやすい、ということの例えなですが、どうやらその影響で、日本でも『女心〜』と言われるようになったらしいです。

お買い物カレンダー(日替わり商品やイベント情報)

Calendar table with columns for days of the week (日, 月, 火, 水, 木, 金, 土) and rows for dates (20-19). Includes product names like 'じゃんけんスタンプ5倍' and 'メール会員 ハッピーday'.

発行：マルシャン本店旭屋ベーカリー 長岡市学校町3-10-20 〒940-0041

TEL：0258(32)5518

次回発行予定日：12月20日(月)

Four promotional boxes for bread products: 菓子パン・調理パン ¥20引き, 食パン ¥30引き, 食パン ¥30引き, and スターブレッド お試し券 通常¥630→¥580.